

福岡市小児医療情報ネットワークシステム」に関するアンケート
～自由記述意見一覧～

※個別の病院名が挙がっている回答については、病院名を伏せた形に修文しています。

問 2-1 「福岡市小児医療情報ネットワークシステム」は、どういう点で役に立ちましたか。(問 2 で「役に立った」「どちらかといえば役に立った」と回答した人のみ回答) (自由記述)

◇空床状況の把握に役立つとの意見

空床状況がわかるが、常に受け入れ可能数が変わってないようだ。一応は見て参考にしているが、電話して問い合わせしている。
紹介入院先がすぐわかる。
紹介病院を探さなくて良かった。
小児の 2 次病院を探す際に参考になる。
入院受け入れベッドの情報を知るために使っている、特にインフルエンザ流行時に利用。
空床がわかり、スムーズに紹介できる。
土・日曜日は急患センターを受診させるが、その他の日の急患受け入れ状況が把握できる。
入院が必要な患児がいた時、病院の需要状況が事前に分かるので、紹介がスムーズに行われた。
紹介先の空床の状況がわかること。ただし更新がされていない医療機関があり、判断できないこともある。

◇その他の意見

病院名、電話番号がすぐ分かる。
現在流行っている疾病の状況が分かるので役に立った。
毎日の情報が更新されない場合は多かったように思う。患者をどの病院に送るかの判断ができない。

問2-2 「福岡市小児医療情報ネットワークシステム」は、どういう点で役に立ちませんでしたか。(問2で「役に立たなかった」「どちらかといえば役に立たなかった」と回答した人のみ回答)(自由記述)

◇リアルタイムの情報が把握できないとの意見

情報の更新がなされていないところがある。
その日の朝の情報がリアルタイムでない。
数時間単位で収容数が変化しているので、情報は遅れがちではないか。
更新が毎日行われていないので、ネットワークでは実際の空床状況が把握できず、結局は電話しないとわからない。
受け入れ可能数0でない病院に紹介しようとしたところ、受け入れてもらえず、数件連絡することが多い。
当日の状況が反映されないので、実際電話で確認しないと本当に送れない。
情報が随時更新されていないため。
一部の医療機関で更新が遅い。

◇直接電話で2次医療機関に確認しているとの意見

状況が常に変化しており、直接電話で確認してお願いすることがほとんど。
2次病院に直接電話しているため。
空床確認をしなくても、電話で近隣の病院に依頼している。
直接医療機関に電話して、入院依頼をする方がやりやすい。疾患によっては、受け入れてくれることもあるし、また患者様の希望を考えることもある。満床が多いときは、役に立つと思う。
一見でどの病院にどのくらいの空床があるのか分かれば役立つ。直接電話したほうが早い？
直接電話するので、紹介するたびホームページを確認することはない、おおまかな状況を知っておくことができるという程度で理解している。
2次医療機関へ直接電話しているので、不便を感じていない。
ネットワークシステムを参照せずに直接医療機関に連絡をとり入院を依頼したので。当日に退院がある場合もあり、「可能性0」でも患者様を受け入れて下さる場合もあるようだ。

◇空床の個室の種類や、対応可能な疾患が不明との意見

空いているのがどのような部屋なのか不明、多くの医療機関が満床のときに、仲介役になる機関がない。（市はホームページを公開しているだけである）

個室かどうか、どのような疾患が受け入れられないのか等の病棟内の詳細情報がない、ちなみにある病院からは毎日病棟内入院状況がFAXで送られてくる。

空きベッド数と実状が合っていない。ほとんど急性期の入院は感染症がらみだが、病院全体の空きベッドが表示されており、かなりのベッド数が表示されているにかかわらず、感染症の入れるベッドは0のことが数回あり役に立たないと判断している。

◇その他の意見

忘れていた・必要性ない。

ネットワークの存在を忘れていたため、今後利用してみようと思う。

空床状況で入院先を考えるのではなく、疾患の種類と重症度に応じて入院先を考えているため。

小児科で緊急入院を依頼するケースはなかった。

小児科専門ではないため、入院をお願いするときは、肺炎も含め「ちょっと気になる、2、3日の入院を」というお子さんがほとんど。ホームページの受け入れ可能数（どういう患者の受け入れが可能か不明）は呼吸管理や透析などの重症者の数だと思うので、実際には役に立たない。

診察用パソコンはインターネットにつないでいないため、必要な時に情報を見ることができない。

問3 「福岡市小児医療情報ネットワークシステム」を利用したことがないのは、なぜですか。(問1で「見たことがない」と回答した人のみ回答)

3. 必要性を感じないと回答した人の理由

◇近隣の2次病院への紹介で対応できているとの意見

病院連携機関とうまく連携が取れている。
近くの病院で対応してくれる。
紹介先を限定しているの。
入院引き受け先は大概決まっていて、あまり断られることがなく、医療者側はそれ程必要としないのでは？

◇電話等で直接2次病院に紹介しているとの意見

2次病院に直接TELする方が早い、空床数は、1日の間でも変わることが多い。
直接電話をして依頼するほうが早い、東区であればいくつかの病院にほぼ限定される。
紹介状添付又は電話で直接依頼。

◇その他の意見

必ずしも「入院」を前提としての患者紹介ではないので、空症状況を確認する必要性が低い。
小児の患者が来ない。
紹介先の病院は病気の種類と時間によって使い分けているので特に困っていない。
患者さんの住所・病状などで2次病院を探すため。小児科は入退院が早く、情報で満床でもすでに空きベッドがあったり、退院予定がある可能性があるため。

4. その他の意見

◇近隣の2次病院への紹介で対応できているとの意見

ある病院が近いため、そこでほぼ完結する。
ある病院が最も近く、ほとんどその病院にお願いしている。
ある病院にもお願いすることがあるが、今のところ苦労したことがない。
ある病院にすぐに紹介した。

◇電話等で直接2次病院に紹介しているとの意見

電話やFAXを利用しているため不自由を感じていない。

◇その他の意見

使用する機会がなかった。
距離が離れていて、利用する機会がなかった。
存在を忘れていた。
接続はできるが、表示がきちんとされていないようで、全て「0」で、その後一度も接続していない。パソコンはMAC。原因は分からない。
運用開始後は1回見ただけで、患者紹介入院のときに見たことはない。（必要なかった）
福岡市の地区外のため、関係ないと思っていた。

問4 「福岡市小児医療情報ネットワークシステム」について、改善すべき点など、意見がありましたら、ご自由にご記入下さい。(全体)(自由記述)

◇ 広報が必要との意見

どこにアクセスするのか分からない。
システム自体を知らなかったので、もっと公にしたほうがよい。
もう少し積極的、興味を持つような広報が必要かも。
丹々会を介してメールで送ってきていたが、6月中旬より配信がストップしている。
認知させるためには、医師会(小児科医会)を通じた活動が必要。
サイトの場所が分からなくて、丹々会からやっと見つけて入った。知っていれば、もっと役に立っていたのかも。
知らなかったので、教えてほしい。
市外でも利用できるなら教えてほしい。可能なら利用したい。

◇システム・機能拡充が必要との意見

当直医の名前やそれこそ空きベッドの数を表示してもらった方が助かる。福岡市東区医師会 HP には、病院当直情報を掲載している。こういうのが有用。
入院依頼、空床情報以外の小児医療情報を病院・診療所が双方向的にもっと広げてもてたらよいかな、と思う。具体的にはいろいろあると思うが・・・。
対応できる疾患の種類を示してほしい。
ページに行くのにPWを2回以上入力が必要、メールアドレスに一斉メールすると、クリックで見れるので便利なのは。否が応でも毎日チェックする。
①医療機関の検索を選択画面にするよう依頼したが、改善されていない。 ②満床に近くなったら、各医療機関に「早めの退院を」と促し、空床確保に先手を打っておくこと。 ③市役所が責任を持って病院探しをすること。単に空床のみを公開しても意味なし。悪く取れば、人工島移転のためのポーズとしか思えない。特に、西区、早良区の二次病院の確保ができるよう今からしっかり取り組んでほしい。
紹介入院はほとんど感染症だと思う。感染症のとれるベッド数を表示してほしい。忙しいときにPCで空きベッドを確認して、その上で断られると、時間のムダである。
個室かどうか、どのような疾患が受け入れられないのか等の病棟内の詳細情報がない。
さらに充実させてほしい。
個室かどうか、どのような疾患が受け入れられないのか等の病棟内の詳細情報がない、ちなみにある病院からは毎日病棟内入院状況がFAXで送られてくる。

◇定期的な更新が必要との意見

特にある病院は空床の状況の更新が適宜なされていないようだ。
更新を頻回にしてほしい。
各病院、忙しいとは思いますが、全ての登録医療機関が少なくとも毎朝データを更新してリアルタイムな状況が確認できないと、ネットワーク自体の信用性が保てない。(使えない)
タイムリーな情報提供は難しいとは思いますが、全ての病院が定期的に(毎日)更新されていれば有意義と思う。
その日の朝の情報がリアルタイムでない。ちなみにある病院からは毎日病棟内入院状況がFAXで送られてくる。
全ての登録医療機関が定期的にデータの更新をしてほしい、リアルタイムな空床状況を確認したい。
役に立つシステムだと思うので、更新を遅れないようにしてほしい。
更新をマメにしてほしい。

◇その他の意見

急患診療所でシステムの存在は知っていたが、患者さんが少ない時期の担当であったため、使う必要はなかった。
今はあまり需要がないかもしれないが、新型インフル等の流行時期は需要が増す。今後も継続してほしい。
2次病院の入退院はめまぐるしく変わっているので、実際に電話をしたほうが確実。また、病院によっては他の病棟のベッドを借りることができたり、臨機応変に対応して下さるところもある。このシステムは、ある程度の情報を得ることができるが、これだけで紹介先を決めることはできない。
筑紫野市でもっと近い2次病院との医療協力関係に努めている。
紹介可能な2次病院の拡充。
必要だと思う。
見たことないため分からない。(同内容の意見が他に1件)
一度見ておきます。